

社会〈小学校 第4学年〉 調査結果と指導の改善

1 結果の概要（全体の傾向）

よくできています。改善が見られます。

○資料から昔の道具の変化を読み取ることができるかどうかをみる問題は、相当数の児童ができています。

④1 92.3% (H22 80.4%)

○火事発生時の連絡先や連絡体制を理解しているかどうかをみる問題は、相当数の児童ができています。

①1(2) 83.3%

○洗濯道具の変化と社会生活の背景を関わらせて考えることができるかどうかをみる問題は、相当数の児童ができています。

④2 83.8% (H22 39.6%)

こんな課題が見られます。

◆観察や調査・見学で分かったことや考えたことを生かして社会生活を理解することに課題が見られます。

例) 浄水場の果たす役割や、働いている人の努力についてまとめること

②2 52.5%

◆基礎的資料から必要な情報を読み取り、事実を比較したり、関連付けたりするなど、資料活用技能の定着に課題が見られます。

例) 年表に示された事実を一つ一つ見付け出し、年月の経過に応じてできごとを読み取ること

⑤1 49.9%

はるかさんは、じょう水場や水げん地などのしせつでは、右の絵のように薬品や器具を使って水質けんさをしていることを知り、その理由をまとめました。

□ の () にあてはまることばを書きましょう。

<まとめ>

薬品や器具を使って水質けんさするのは、.....
() で、おいしくきれいな水をつくるため。

だいきさんは、年表をもとに、養川が用水づくりを決心してから、最初の用水をつくるまでに何年かかったかを調べました。かかった年数として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を □ に書きましょう。

年	主なできごと	年	主なできごと
1736	坂本 養川、田沢村に生まれる。	1776	養川、上の橋に用水をつくることを
1765	水不足で、薪田をつぶし、次の年に畑を田にすることを禁止する。	～1783	働い出る。働いは、なかなかまとめられず、6回におよぶ。
1768	養川、田沢村を主となる。	1785	養川、最初の用水である堀の最初の用水をつくる。
1763	養川、用水のつくり方を学ぶ。	1792	養川、大規模用水をつくる。
1764	養川、用水づくりを決心する。	1801	養川、上の橋から段人に降り立てられる。坂本の名字をあてられる。
1770	雨がふらず、水あそいがおきる。	1809	養川、なくなる。
1774	養川、諏訪全体の水の利用について調べる。		

ア 6年
イ 10年
ウ 21年
エ 28年

2 指導改善のポイント

ポイント1 社会的事象を具体的、実感的に捉えることができるよう、地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動を位置付けることを大切にしましょう。

1 学習課題を確認して、浄水場の見学計画を立てる。

いつでも安心してきれいな水が使えるわけを考えよう。



わたしたちがいつでも安心して水が使えるためのひみつが、きっとじょう水場にかくされているはずよ。



じょう水場で働いている人の工夫や努力がきっとあるはず。くわしいことを直接聞いてみたいな。

2 学習課題に対する予想を個人で考え、グループで交流する。

- ・きたない水をきれいにする機械があるのではないわ。
- ・プールでも薬を入れたりするから、同じようにやっているのか。
- ・蛇口をひねるといつでも水が出るから、コンビニのように24時間働いている人がいるのか。

①学習課題とともに、一人一人の疑問を確認することで、興味・関心を十分に高め、積極的に見学できるよう指導しましょう。

※見学先は、地域の実態を生かして決定します。

②既習内容、生活経験、理由などを確認し、学習課題に対して根拠を明確にして予想がもてるよう指導しましょう。

※追究の見通しがもてるように、グループで説明し合う活動を位置付けます。

3 全体交流を行い、見学の視点を話し合う。

水をきれいにするしくみ

- ・どんな機械があるか。
- ・薬は使っているか。
- ・24時間管理しているか。

働いている人の努力

- ・何時間働いているか。
- ・どんなことに注意しているか。
- ・検査はしているか。

<板書の例>

学習課題

いつでも安心してきれいな水が使えるわけを考えよう

水をきれいにするしくみ

- ・どんな機械があるか
- ・薬は使っているか
- ・24時間管理しているか

働いている人の努力

- ・何時間働いているか
- ・どんなことに注意しているか
- ・検査はしているか

4 見学で注意することを確認する。

- ・説明して下さる方の話に集中し、分からないことは質問する。
- ・視点を頭において見学したり、働いている人に聞き取りをしたりする。
- ・危険な場所には入らないなど、安全には十分気を付ける。

③全体交流では、自分の予想との相違点や共通点に注意しながら仲間の意見を聞くとともに、社会的事象を具体的、実感的に捉えられるよう指導しましょう。

※見学では、浄水場のしくみを具体的に捉えられるよう視点を提示します。
※浄水場で働く人の努力を実感できるよう、消防署や警察署での既習内容や自分の生活と比べながら聞く視点を明確にします。

④挨拶・言葉遣いなど見学のマナーを確認しましょう。また、安全には十分に気を付け、見学するよう指導しましょう。

ポイント2 資料活用の技能が定着するよう、地図や地球儀、統計、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用する学習や、繰り返し活用する学習を大切にしましょう。

過程	ねらい	学習活動			
つかい	<ul style="list-style-type: none"> ・年表から事実を読み取り、本時の学習課題を設定することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 年表からT村に生まれたSが、6回地域の川水づくりを願い出た事実を捉え、本時の学習課題を設定する。 ・川水づくりがどの様になかなかみとめられなかった。 ・Sは川水づくりを繰り返し6回願い出ている。 どうしてT村に生まれたSは、川水づくりがみとめられるまで6回も願い出をくり返したのだろうか。 			
調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の学習から追究の見通しをもつことができる。 ・資料を活用して学習課題について調べ、考えをもつことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 2 予想をもとに追究の見通しをもつ。 ・日照りが続き、米づくりに困ったからではないか。 ・用水をつくり、少ない水を利用する人々の間で起こった争いを取めようとしたのではないか。 3 年表、図、文章資料をもとに考えをつくる。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・水が不足すると、せっかくつくった新田をつぶさなければならなかったから。 ・水不足で米を全く取れなかった年があるから。 </td> <td style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・村人が米づくりのために水をひきたいと願ったから。 ・ひでりが続いた時水あらいがおきて命をおとす人がいたのであらいをなくしたから。 </td> <td style="width: 33%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・用水をつくり、水が流れるようになれば上流の田も、下流の田にも水が引けるようになり多くの人が米を作ることができるから。 </td> </tr> </table> 	<ul style="list-style-type: none"> ・水が不足すると、せっかくつくった新田をつぶさなければならなかったから。 ・水不足で米を全く取れなかった年があるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村人が米づくりのために水をひきたいと願ったから。 ・ひでりが続いた時水あらいがおきて命をおとす人がいたのであらいをなくしたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用水をつくり、水が流れるようになれば上流の田も、下流の田にも水が引けるようになり多くの人が米を作ることができるから。
<ul style="list-style-type: none"> ・水が不足すると、せっかくつくった新田をつぶさなければならなかったから。 ・水不足で米を全く取れなかった年があるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村人が米づくりのために水をひきたいと願ったから。 ・ひでりが続いた時水あらいがおきて命をおとす人がいたのであらいをなくしたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用水をつくり、水が流れるようになれば上流の田も、下流の田にも水が引けるようになり多くの人が米を作ることができるから。 			
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と考えを交流して課題解決をし、結論をまとめることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 4 考えを交流する。 ・新田をつぶすという被害があったので、水をひきたいという村人の願いをかなえるために願い出を繰り返したんだ。 ・米をとることができなかった年もあったが、用水があれば上流の田も下流の田にも水がゆきわたり、この地域の多くの人が米づくりをすることができるようになると思ったので願い出を繰り返したんだと思った。 5 現在の地域の様子を写真で確認し、キーワードを使って学習のまとめを書く。「ひがい」「水をひきたいという願い」 ・T村に生まれたSが川水づくりがみとめられるまで6回願い出をくり返したのは、村人が水不足で米がとれないなどのひがいにあったので、村人の「水をひきたい」という願いをかなえるためだったんだ。この用水のおかげで、自分が住んでいる地域の人々の生活がよくなったと思ったんだと思った。 			

①基礎的資料を活用する方法を身に付けるとともに、資料から事実を読み取れるよう指導しましょう。

※地図帳の索引から地名を探し、地図を活用して、都道府県や市町村の位置を確認します。
※年表等の資料を活用する際には、「願い出を6回している」など、学習課題を追究するために、読み取る必要がある事実を明確にしておきます。

②基礎的資料を繰り返し活用し、学習課題と関連付けて資料を活用できるよう指導しましょう。

※年表から、事実の内容とともに、そうした事実が生じた理由を考えるよう指導します。
※図から学習課題に関連付けて必要な情報を読み取れるよう視点を提示します。

③各種の資料を関連付け、効果的に活用できるよう指導しましょう。

※複数の資料(年表と図など)を関連付ける視点を明確にし、考えたことを表現するよう学習活動を設定します。

3 指導改善を進めるに当たって

◇次の資料に具体的事例が示されています。指導改善の資料として活用しましょう。

小学校の第3～6学年の指導事例が掲載されています。全校の先生方で活用して、指導改善を進めましょう。

①言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】

(平成23年10月、文部科学省、http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1300863.htm)

②評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校 社会)

(平成23年11月、国立教育政策研究所教育課程研究センター、http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyoka/shou/02_sho_shakai.pdf)

③授業改善アクションプラン実践事例(社会)

(岐阜県教育委員会、岐阜県総合教育センターHP、http://www.gifu-net.ed.jp/ssd/sien/gakuryokusougou_suisin/top/index.html)

社会〈小学校 第5学年〉 調査結果と指導の改善

1 結果の概要（全体の傾向）

よくできています。改善が見られます。

○資料から米づくりの農作業の順序を読み取ることができるかどうかをみる問題は、相当数の児童ができています。

③ 2 93.5%

○自動車工場での組み立ての工夫について、指示ピラと関わらせて考えることができるかどうかをみる問題は、相当数の児童ができています。

④ 2 88.6% (H20 76.6%)

○岐阜県の位置を方位を用いて言い表すことができるかどうかをみる問題は、正答した児童の割合が多くなっています。

① 1 73.8% (H22 45.0%)

こんな課題が見られます。

◆複数の資料を活用して、社会生活を理解することに課題が見られます。

例) 沖縄県産の小菊の取引状況と他の産地の取引状況とを比較して、沖縄県産の出荷の特徴を捉えること

② 5 63.5%

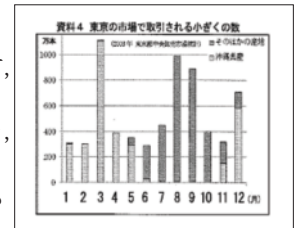
◆必要な情報を比較、関連付け、総合して社会生活を捉えることに課題が見られます。

例) 米づくりの工夫について、輸送や販売と関連させて、捉えること

③ 4 34.3%

たかしさんは、沖縄県の小ぎくづくりを学習しました。資料4から分かることとして最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を に書きましょう。

- ア 沖縄県産の小ぎくは、そのほかの産地の出荷が少ない冬から春にかけて、多く出荷されている。
- イ 沖縄県産の小ぎくは、あたたかい気候を生かして、夏にそのほかの産地より多く出荷されている。
- ウ 沖縄県産の小ぎくは、そのほかの産地と比べると、10月に最も多く出荷されている。
- エ 沖縄県産の小ぎくは、一年を通じて、どの月でも200万本より多く出荷されている。



太郎さんは、米づくりでのくふうについて学習しました。輸送やはん売のくふうとして最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を に書きましょう。

- ア 営農指導員から米づくりのアドバイスを受けている。
- イ 地域の農家が共同でカントリーエレベーターを利用している。
- ウ 計画や注文にしたがって米を全国各地へ出荷している。
- エ 気温が不安定なので、ビニールハウスで苗を育てている。

2 指導改善のポイント

ポイント1 社会的事象についての基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう、作業的・体験的な学習や問題解決的な学習、繰り返し学習を大切にしましょう。

1 既習内容から、学習課題を設定する。



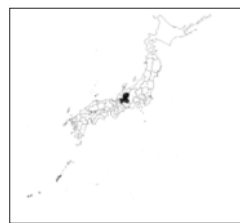
低地のくらしで学習した海津市の人と同じように、沖縄県の人もその地域のよさを生かして生活していると思うよ。

沖縄県はあたたかいから、きっとその気候を生かして農業などを行っていると思うな。

沖縄県でも、あたたかい気候を産業に生かしているのだろうか。



2 地球儀や地図帳で、岐阜県と沖縄県の位置を確認する。また、それぞれの位置を八方位を用いて言い表す。



①既習内容を繰り返し活用する学習を設定するとともに、疑問を明確にして学習課題を設定することで、問題解決的な学習が展開できるよう指導しましょう。

②地図帳で岐阜県と沖縄県の位置を調べるなど、作業的・体験的な学習を通して、地理的な位置関係を確認する指導をしましょう。

※岐阜県と沖縄県の位置を八方位を用いて、ペアで説明し合う活動を位置付けるなどし、知識・技能の定着を図ります。

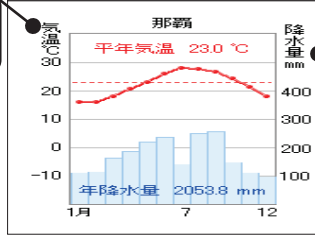
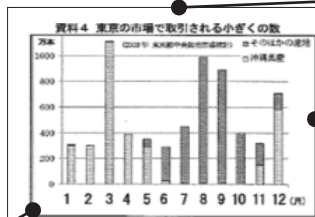
3 統計資料をもとに棒グラフを完成し、グラフから分かったことをまとめる。

- ・沖縄県産の小菊は3月に500万本も取り引きされる。
- ・全国的に小菊の出荷は、8月、9月に1番多いけれど、沖縄県産の小菊はあまり出荷されていない。
- ・1～3月に取り引きされる小菊の量は、沖縄県産のものが多い。

教科書で、他の地域の雨温図も確認すると沖縄県が暖かいことがより実感できる。

4 沖縄県産の出荷時期が他の地域と違う理由を雨温図と関わらせて考える。

- ・雨温図から沖縄県では、他の地域と比べて暖かいことが分かる。だから他の地域が小菊を作れない寒い時期に、沖縄県の暖かい気候を生かして、小菊を出荷している。



③ 1～3月の出荷量をグラフで表すなど、作業的・体験的な学習を通して、沖縄県産と他の地域の出荷量の違いを明らかにする指導をしましょう。

※資料を読むときは、タイトル、単位、縦軸、横軸を確認します。
※1～3月の沖縄県産と他の地域の小菊の出荷量の違いを、色分けします。
※月ごとの小菊の出荷量の違いを読み取るなど、事実を明らかにします。

④ 資料を繰り返し活用する学習を設定し、雨温図から読み取った気候の特色と、小菊の出荷量と関わらせて考えることができるよう指導しましょう。

ポイント2 社会生活を広い視野から捉えることができるよう、各種の資料から必要な情報を集めて読み取ったことを比較・関連付け・総合しながら再構成する学習や、お互いの考えを深めていく学習を大切にしましょう。

過程	ねらい	学習活動						
つかむ／調べる／広める	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sさんの様子から本課題を学習できるように追及の見通しができる。 ・ 資料を活用して課題を追究する。 ・ 話し合い、まとめることができる。 ・ 考えを再構成し、問いを深めることができる。 ・ Sさんの話を自分の考えと比べて聞くことができる。 ・ 学習を振り返り、まとめることができる。 	<p>1 庄内平野に住むSさんの米作りの様子から、本時の学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学肥料を使った方が手間が省けて楽なのに、どうしてSさんはたいひを使ってお米を作るのかな。 <p>どうしてSさんは、手間がかかるにもかかわらず、たいひを使って米作りをするのだろう。</p> <p>2 予想をもとに追究の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たいひは土にやさしいのじゃないかな。 ・ たいひを使うとおいしいお米ができるのではないかな。 <p>3 資料をもとに考えをつくり、交流する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土作り</th> <th>品質を保つ</th> <th>価格と費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ たいひを田んぼにまくと、微生物が増えるよ。 ・ 土の中の微生物が多く入れればよく育つよ。 ・ それに化学肥料と比べて稲が病気になりにくいんだ。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学肥料を使えば田んぼの土が固くなり、砂みになってしまふよ。 ・ たいひを使うと食味値が80以上になり、粘り気があるお米になるよ。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学肥料は1年間使うと9万円ほどかかるよ。たいひはお金はいらないよ。 ・ たいひを使ったお米は、普通のお米より生産量は減るけれど、一袋300円くらい高く売れるよ。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>4 考えをまとめる。</p> <p>Sさんは、まずよい土を作ることで、おいしいお米を作り、そのお米を販売していきたいんだ。</p> <p>5 新たな疑問をもとに、考えを深める。</p> <p>でも、たいひを使うと化学肥料を使ってお米を作る場合と比べると、収穫量が減ってしまうよ。</p> <p>それでもいいのかな。</p> <p>たしかに収穫量は減ってしまうけれど、ただおいしいお米を作るだけじゃなくて、自然環境を生かしながら、環境にも人にもやさしいお米を作りたいんだ。</p> <p>6 Sさんの話や全国の米作りの状況について聞く。</p> <p>7 キーワードを使って、学習のまとめを書く。</p> <p>「環境を生かす」「安全な米作り」</p> <p>Sさんが手間がかかるのに、たいひを使って米作りをするのは、化学肥料を減らしたいひを使うことで、栄養のある土を作って、丈夫な稲にし、粘り気があるおいしいお米を作りたいからだ。また、もみ殻なども活用するのは、安全・安心なお米をつくりたいからだ。日本の米づくりでは、全国的にもこうした工夫が行われている。環境を生かして安全でおいしい米づくりが大切にされているのだと思いました。</p>	土作り	品質を保つ	価格と費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ たいひを田んぼにまくと、微生物が増えるよ。 ・ 土の中の微生物が多く入れればよく育つよ。 ・ それに化学肥料と比べて稲が病気になりにくいんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学肥料を使えば田んぼの土が固くなり、砂みになってしまふよ。 ・ たいひを使うと食味値が80以上になり、粘り気があるお米になるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学肥料は1年間使うと9万円ほどかかるよ。たいひはお金はいらないよ。 ・ たいひを使ったお米は、普通のお米より生産量は減るけれど、一袋300円くらい高く売れるよ。
土作り	品質を保つ	価格と費用						
<ul style="list-style-type: none"> ・ たいひを田んぼにまくと、微生物が増えるよ。 ・ 土の中の微生物が多く入れればよく育つよ。 ・ それに化学肥料と比べて稲が病気になりにくいんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学肥料を使えば田んぼの土が固くなり、砂みになってしまふよ。 ・ たいひを使うと食味値が80以上になり、粘り気があるお米になるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学肥料は1年間使うと9万円ほどかかるよ。たいひはお金はいらないよ。 ・ たいひを使ったお米は、普通のお米より生産量は減るけれど、一袋300円くらい高く売れるよ。 						

① 資料から集めた情報を比較し、疑問や矛盾を交流し、学習課題を明らかにできるよう指導をしましょう。

※「どうして」という言葉を入れた課題を設定することによって、社会的事象の意味を考えます。

② 各種の資料から情報を集めて調べる学習を設定し、予想と事実を結んで追究できるよう指導をしましょう。

※資料のどの事実から考えたのかなど、根拠を明確にして追究できるようにします。

③ 土づくり、品質保持、価格と費用等の視点を比較・関連付け・総合しながら考えをまとめる指導をしましょう。

※学習課題と社会的事象を結び付けて考え、「だから」「つまり」などの言葉を使い、考えをまとめます。

④ 集約した考えを振り返り、再構成する学習等を設定し、互いの考えを深めることができるよう指導をしましょう。

⑤ キーワードを使って学習のまとめを行い、社会生活を広い視野から捉えることができるよう指導をしましょう。

3 指導改善を進めるに当たって

◇次の資料に具体的事例が示されています。指導改善の資料として活用しましょう。

小学校第3～6学年の指導事例が掲載されています。全校の先生方で活用して、指導改善を進めましょう。

① 言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】

(平成23年10月、文部科学省、http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1300863.htm)

② 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校 社会)

(平成23年11月、国立教育政策研究所教育課程研究センター、http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/shou/02_sho_shakai.pdf)

③ 授業改善アクションプラン実践事例(社会)

(岐阜県教育委員会、岐阜県総合教育センターHP、http://www.gifu-net.ed.jp/ssd/sien/gakuryokusougou_suisin/top/index.html)

1 結果の概要（全体の傾向）

よくできています。改善が見られます。

○表から、アメリカの農業の特色を読み取ることができるかどうかをみる問題は、相当数の生徒ができています。

① 3 86.6% (H19 86.1%)

○地形図の地図記号を理解しているかどうかをみる問題は、相当数の生徒ができています。

③ 2 90.3% (H22 70.8%)

○人物カードから、平安時代の貴族の政治の特徴を読み取ることができるかどうかをみる問題は、相当数の生徒ができています。

⑤ 2 86.0% (H20 82.2%)

こんな課題が見られます。

◆地図やグラフ等の様々な資料を活用して、社会的事象の特色を理解することに課題が見られます。

例) 産業の特色を輸出品目の割合や総額と関わらせて考えること

① 4 38.0%

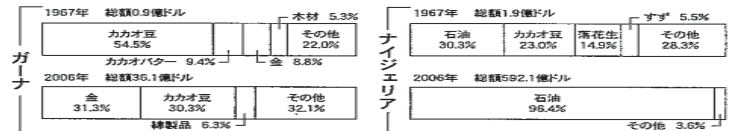
◆社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で説明することに課題が見られます。

例) 楽市・楽座が行われた理由を、税や商工業と関わらせて考えること

⑤ 3 48.8%

略地図1のCのガーナやDのナイジェリアの産業について、資料4から読み取れることとして正しいものを次のア～エの中から一つ選び、その符号を書きなさい。

資料4 主な国の輸出品目の変化



カードBの人物は、岐阜や安土などの城下町において、下の資料1のような政策を行いました。このような政策を行った理由を、「税」、「商工業」ということばを用いて説明しなさい。

資料1 楽市・楽座令

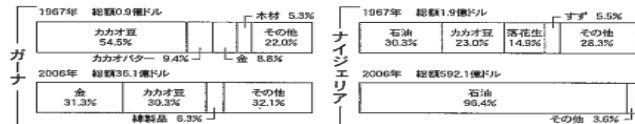
- 一 この地を楽市と命ぜられたからには、座のとりきめや課税はすべて免除する。
- 一 往來する商人が中山道を通ることを禁止し、都へ上り下りする際にはこの町(安土)に来て、寄宿すること。

2 指導改善のポイント

ポイント1 社会的事象についての基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう、地図、グラフ、統計、読み物などの様々な資料を活用する学習や、体験的な学習、繰り返し学習を大切にしましょう。

1 「ガーナとナイジェリアの輸出品」の資料から分かることや思ったことを交流し、学習課題を設定する。

資料4 主な国の輸出品目の変化



・2006年のガーナでは、金とココア豆で輸出品の半分以上を占めています。



・ガーナのココア豆は、割合は減っているけれど、輸出額は大幅に増加しています。

・割合と量の関係に着目したね。



・どちらの国も、農作物や資源が輸出品の半分以上を占めています。

・国の比較や時代の変化から、共通点を見つけたね。



・そのような状況は、1967年からずっと続いています。



・アフリカ州の他の国々も、同じように農作物や鉱産資源の輸出が多いのかな？

・さらに調べたいことを考えているね。

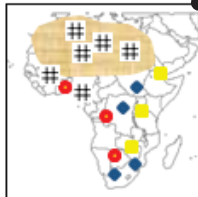
①資料活用の技能の定着を図るために、導入では、グラフを丁寧に読み取る指導や、分かったことや考えたことを確認する指導をしましょう。

※資料名、単位、項目等、基本となる事柄を確認します。
 ※割合と量の関係に留意します。
 ※様々な視点で相違点や共通点を見付けます。
 ※分かったことや考えたことをもとに、さらに調べたいことを交流します。

※「どのような」という学習課題により、社会的事象の特色や関連について調べます。

アフリカ州の産業には、どのような特色があるのか。

- 2 地形、気候区分、農業生産地、鉱産資源の産出地を、白地図に記入する。
- 3 白地図、グラフ、統計等の資料の読み取りを通して、アフリカ州の産業の特色を調べる。



- ・中南部の盆地を利用して農業を行っていることが分かる。
- ・カカオ豆は、熱帯の気候を利用して作られている。
- ・鉱産資源は、南アフリカ共和国あたりに集中している。
- ・アフリカの農業生産物や鉱産資源の多くは、ヨーロッパ諸国やアメリカ、日本などの先進国に多く輸出されている。
- アフリカ州では、地形や気候に応じて産出、生産したわずかな種類の鉱産資源や農産物を、日本などの先進国へ輸出している国が多い。

②体験的・作業的学習を繰り返し設定するとともに、既習内容を繰り返し活用する学習を設定することで、社会的事象を位置や空間的な広がりとの関わり中で捉えられるよう指導しましょう。

③白地図、グラフ、統計等の様々な資料を活用する学習を繰り返し設定することを通して、地域的特色を見いだすことができるよう指導しましょう。

ポイント2 多面的・多角的に考察できるよう、社会的事象の意味や意義を解釈する学習や、事象の特色や事象間の関連を説明する学習を大切にしましょう。

過程	ねらい	学習活動
つかむ	・斐陀匠条の資料から学習課題を設定することができる。	1 斐陀匠条の資料をもとに学習課題をつくる。 ・朝廷は、飛驒の国に対して、調や庸を免除する特別なきまりを出している。
追究する	・予想をもとに追究の見通しをもつことができる。 ・資料を活用して学習課題についての考えをもつことができる。 ・自分の考えを発言したり、仲間の意見を聞いたりして、考えを広めることができる。	2 予想をもとに追究の見通しをもつ。 ・飛驒の技術がすごかった。 ・飛驒は大切にされていたのかな。 3 資料を活用して考えをつくり、交流する。 視点①【飛驒は下の国・山国】 資料「山国飛驒」「匠の技術」 ・飛驒は、下国と認定されており農業が盛んでないため、庸・調が見込めない。 ・山国であり、優れた木工技術を持っていた。 ・都建築など木工需要があった。 ・他国と同じように税をとる。 <下国の飛驒を、朝廷のために利用する> 視点②【異人が住む地：飛驒】 資料「両面宿禰の伝説」「匠の負担」 ・大和朝廷に従ったのが他地域よりも遅い。 ・飛驒は両面宿禰に住む。 ・年間330～350日もの厳しい労働をさせている。 ・食糧は全て自分で用意する。米と塩のみ。 ・働き盛りが100人も奪われる。 <飛驒の力を弱め、はむかわせない>
広める	・話し合い、考えをまとめることができる。	4 考えをまとめる。 朝廷は、飛驒を利用し、力を弱めはむかわせないように、斐陀匠条を出したんだ。
深める	・考えを再構成し、ねらいに迫ることができる。	5 新たな疑問をもとに考えを深める。 資料「飛驒匠逃亡と飛驒まで追いかけて殺した伝説」 逃げた匠をわざわざ飛驒まで追いかけてきて殺した。朝廷が、そこまでするのはなぜだろう？ ・全国の口分田でも逃亡者が増えているから、これ以上、朝廷の命令をきかないことを許してはならない。 ・一人でも許すことは、国の力を揺るがすことになる。 朝廷は、人々が天皇の命令に従う仕組みを整えることで、全国を支配しようとしたのだ。
まとめる	・学習を振り返り、自分の考えをまとめることができる。	6 キーワードを活用して学習のまとめを書く 「利用する」「力を弱める」「全国を支配」 朝廷が飛驒に特別な決まりを出した理由は、飛驒は山が多く、米などの税を多くとることが見込めない。その分、優れた木工技術をもっており、それを朝廷のために利用しようとしていた。また、昔、朝廷に逆らっているから危険な場所とみなされており力を弱めて反抗させないようにしていた。そして、この決まりを絶対には守らせようと徹底していた。全国の一人まで命令をきかせることで、全国を支配しようとしていたことが分かった。

①既習内容等との矛盾を明確にして学習課題を設定し、社会的事象の意味や意義を、多面的・多角的に追究できるよう指導しましょう。

②学習前の考えを明確にし、追究の見通しや学習後に考えの深まりが実感できるよう指導しましょう。

③個人追究では、資料から読み取ったことと、学習課題とを結び付けて考えることができるよう指導しましょう。

④集団追究では、資料から考えたことを自分の言葉で発表したり、仲間の考えを聞いたりすることを通して、社会的事象の特色や事象間の関連を説明できるよう指導しましょう。

※多面的・多角的に考察するために、意図的な指名とともに、板書で社会的な見方や考え方を整理します。

⑤学習を通して身に付けた見方や考え方を使得、学習課題についての結論を説明できるよう指導しましょう。

※実態やねらいに応じて、キーワードを設定します。

3 指導改善を進めるに当たって

◇次の資料に具体的事例が示されています。指導改善の資料として活用しましょう。

- ①言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】
(平成23年5月、文部科学省、http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1306151.htm)
- ②評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(中学校 社会)
(平成23年11月、国立教育政策研究所教育課程研究センター、http://www.nier.go.jp/kaihatsu/hyouka/chuu/02_chu_shaki.pdf)
- ③授業改善アクションプラン実践事例(社会)
(岐阜県教育委員会、岐阜県総合教育センターHP、http://www.gifu-net.ed.jp/ssd/sien/gakuryokusougou_suisin/top/index.html)